

令和2年度第1回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		令和2年9月29日(火曜日)林野庁入札室			
委員		前原一彦(公認会計士) 長谷部修(弁護士) 近田直裕(公認会計士、税理士)			
審議対象期間		令和2年1月1日～令和2年6月30日			
審議対象案件		110件	うち、1者応札案件 28件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 3件		
抽出案件		8件 (抽出率 7%)	うち、1者応札案件 2件 (抽出率 7%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件 (抽出率 33%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	1件	うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			工事希望型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			随意契約	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	業務	一般競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			随意契約	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			標準型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の随意契約	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			物品・役務等	4件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	物品・役務等	指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		随意契約(企画競争・公募)	3件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		随意契約(その他)	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		(特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> 抽出のうち工事の1件、物品・役務等の4件については、落札率の高かった契約等を抽出した。 抽出のうち物品・役務等の2件については、落札率の低かった契約等を抽出した。 抽出のうち物品・役務等の1件については、契約金額の大きかった契約等を抽出した。 		
	委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答等	
(詳細に記述すること。) (別紙のとおり)		(詳細に記述すること。) (別紙のとおり)			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	該当なし				
[これらに対し部局長が講じた措置]	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; width: 15%; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 15%; height: 40px;"></div> </div>				

事務局：林野庁林政部林政課会計経理第1班
(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回 答
<p>委員からの意見 ・質問、それに対する回答等</p>	<p>抽出契約について 〔抽出番号1：林野庁東営宿舍1号棟共用部給水設備改修工事〕</p> <p>・評価項目の簡易な施工計画に関する項目が、1者が0点ですが、どういうことでしょうか。</p> <p>・記載しなければ0点になることを認識されているとすると、はじめから取る気がないということですか。</p> <p>・この工事は給水設備工事ということですが、一般的で一般的な工事だと思いますが、それにしては2社しか応札がないのは少ないのではないのでしょうか。</p> <p>〔抽出番号2：令和元年度GISデータ整合チェックツール作成等事業〕</p> <p>・今回の落札業者の価格は、予定価格ともう1社の入札価格に比べて、極端に低いと思いますが、なぜこんなに安かったのか。また、これは低入札にはならないのでしょうか。</p> <p>・この契約は特に問題なく無事終わりましたか。</p>	<p>・この1者の方が資料に何も記載していなかったため、0点になっています。</p> <p>・業者がどうして書かなかったか確認はしていませんが、一部記載せずに提出するところがあります。</p> <p>・参加を希望しているという電話は他にいくつかありましたが、結果的に2社だけでした。理由を考えましたが、少し大きめの工事だったということ、また、この前に2回不落になっていたため、工期が厳しくなってきたかと思っています。</p> <p>・まず、低入札の基準になる予定価格までいっていませんので、低入札調査の対象にはなりません。また、低価格の要因ですが、業者に聞き取りはしていませんが、2社ともGISを作成するノウハウはあったかと思っています。この価格差が生じたのは、過去に実施した別の低入札案件で聞き取りをした際にもあったように実績を積み上げたか、手持ちの仕事がなかった、等が理由と推察されます。</p> <p>・はい。このソフトは各森林管理局7局と本庁に納めてもらいました</p>

が、不具合などの連絡はありません。本庁でも使っていますが、問題なく動いています。

・国有林の森林計画図面や森林簿のデータをファイル化するのがこの事業ということですか。

・現在使用している地図はマイラーというフィルムのような手書きのものでした。その地図をGISで使えるように電子化しているところです。その電子化した地図において、データが正しいかエラーがないかを確認するためのチェックするシステムを作ったものです。

・入札参加者が2者だけで少なめと思いますが、この辺りはどうお考えでしょうか。

・はい。入札資料の閲覧はもう少し多くの方が見て行かれたのですが、年度末のため、各業者さんも手持ちの仕事で忙しかったのではないかと考えています。

〔抽出番号3：令和元年度「森林サービス産業」緊急対策事業〕

・事業計画書に経費が掲載されていますが、全体が約7,000万円で技術者の経費が約470万円、その他、役務費がありますが内容を教えてください。

・役務費の内訳については、メディアに対する配信費や取材費、展示会の出展の運営、WEB・SNS・YouTubeへの広告配信費などを見込んでいます。

・再委託費1600万円は、どのような内容ですか。

・森林の活用に関する意向や意識について把握するためのWEB調査や、特設WEBサイトの作成、森林空間利用のプロモーションにあたってのキャッチコピーやイラストの作成等を行うものです。

・この入札には3者の応募があったのですが、この3者で共同企業体を結成したのでしょうか。

・いえ、違います。応募者は、共同企業体が2者、単独の株式会社1者の計3者から応募があり、そのうちの1者である3者の企業からなる共同企業体が落札しました。

・契約期間が延長になったのは、コロナの影響ということでしょうか。

・仕様書の事業内容に「インバウンド展開を視野に入れた効果的なプロモーション」というのがありますが、今のコロナの状況では少し変わっていると思います。また地方ではリモートなどのニーズもあると思います。状況に応じて事業内容を変えていくということはあるのでしょうか。

〔抽出番号4：令和2～5年度国有林野情報管理システムに係る運用及び保守業務〕

・この案件は以前から続いているものですので、新しい業者がなかなか入ってこられない案件ということですか。

・運用サポートの評価の点数で、一人だけ5点を付けている方がいます。で10点を付けている方もいて、倍も違うのですが、この差に心当たりはありま

・コロナとの影響も多少あったが、契約期間を延長した3月時点では、まだオリンピックが行われる予定であったことや、プロモーションを効果的に進める上で、森林空間の活用等が高まる夏休みや、秋の行楽シーズン、冬のスキーシーズンといった時期を見据えて実施すべきとの検討委員から意見があったことから、財務省と協議の上、契約期間の延長を行ったところです。

・この事業を開始した3月の段階では、オリンピックで来られるインバウンドの方達に対しても森林空間の魅力を発信していきたいという考えでした。しかし、コロナの影響でオリンピックが延期になるなど、状況が変わってしまったことから、コロナ渦の中での状況を見極めながら検討委員会で議論していただき、実施できる内容でプロモーションを行っているところです。

・システムの運用業務となると、システム自体を理解していないといけないということが1つ、我々が行っている業務をシステムに入力するため、我々の業務もある程度分かっている方でないと、なかなか難しいと思います。

・今回は企画提案書を事前に確認した後でプレゼンを受け、その場で採点しています。そこに恣意的なものは何も発生していません。特段思い

すか。また、こういう場合は聞き取りをしていますか。それともそういう厳しい点数を付けるのに思い当たる節があったのか。特に運用サポートがダメとなると、あまり良くないのではないかと思います。

・平成 19 年に富士通が構築して、富士通以外が関与したことはありますか。専門性があるので富士通以外が手を挙げたときに非常に困ることになりませんか。富士通以外は全く手を挙げなかったという理解でよろしいでしょうか。

・契約期間が 3 年半ということで中途半端な印象を受けますが、他の会社が入って来やすいように見直しされたと理解しましたが、3 年半に意味はあるのでしょうか。

〔抽出番号 5 : 令和 2 年度林野庁 治山及び林道調査設計積算プログラムの保守及び管理業務〕

・入札調書を見ると落札した業者と最も高く入札した業者の入札額が倍以上開いていますが、この差が開く理由に何か心当たりはありますか。また、特に支障はありませんか。

当たるところもありません。運用サポートのところでは、5 点の者以外は 10 点が 3 名、9 点、8 点が 1 名ずつでしたので、品質的に問題ないと判断しました。その場で聞き取りはしていません。

・入札説明書や仕様書を取りに来る業者は結構いますが、そのときに手交する仕様書別紙のシステムの構成図やネットワーク構成図を見て、システムの規模や複雑さを懸念するのか入札説明会に来ていた業者も一気に減って、結局 1 者応札になるということが続いています。また、前回の 1 者応札の事後アンケートで、新規参入になると運用支援室開設など多額の初期投資が係ることから、少しでも長い期間で契約できれば取り返せる部分もあるのではという意見もありましたので、前回 1 年半だった契約期間を 3 年半に延長したところです。

・当初は 4 年で考えていましたが、第 1 期の政府共通プラットフォームの終了期間が前倒しになったため、それに併せて令和 5 年 9 月末までとしています。

・落札事業者に聞いたところ、この入札が実施された時期が、新型コロナウイルスの非常事態宣言が出るか出ないかという話しがあったため、将来発注が少なくなると思い、事業量を確保するために入札に参加したと聞いています。

今のところ支障があるといったことはありません。

・この事業は毎年行っているのかそれとも数年おきなのでしょうか。

・毎年行っています。特に単価は時期によって変動するものなので、年4回入れ換えています。このプログラム自体も平成29年に作って林野庁で一本化してそれを更新しています。

・基本的なデータさえ提供できれば特に専門性のない事業ということで価格競争だけで大丈夫ということですか。
また、外部に入札で委託しなければならない事業でしょうか。

・このプログラムはExcelのマクロで構成されておりまして専門のプログラムを必要としないので価格競争だけで問題ないと考えています。
プログラムの中でマクロを使いますので職員では難しいと思います。またこの契約は委託ではなく請負としていますので、成果品を納品してもらうことになります。

〔抽出番号6：令和2年度行政情報システム用パーソナルコンピュータ貸借及び保守等業務（森林管理局）〕

・今回の入札は、全体が6000台くらいある中の1400台の入れ替えなのでどこがとっても良い案件ですよ

・はい、もちろんそうです。

・そうすると職員が使用しているパソコン6000台は、いろいろなメーカーのものが混在しているということですか。

・はい。

・統一した方が便利なような気がしますが大きさが一緒であればそんなに変わらないということですか。

・はい。画面のサイズ、ハードディスクの容量、CPU等、事務用のパソコンとして遜色なく使えるものと

	<p>・入札価格は、ほとんどそのパソコンの金額と考えていいですか。</p> <p>〔抽出番号7：令和2年度ICT等を活用した路網整備推進技術者育成事業〕</p> <p>・経費の内訳に再委託が670万円ありますが、具体的に内をされているのですか。</p> <p>・この契約相手方は一般社団法人ですけれども、再委託先がこの社団法人の会員ということはないですか。</p> <p>・応募が1者しかなかった理由は何かありますか。</p> <p>・今までの期間でコロナの影響があったと思いますので、契約内容について対応状況はどうでしょうか。</p> <p>〔抽出番号8：令和2年度森林経営管理制度実施円滑化事業〕</p> <p>・森林管理制度は所有者不明の森林を特定していくことが最終的な業務でしょうか。</p> <p>・経費内訳の直接経費の内訳を教えて</p>	<p>して統一しています。パソコンの機種によって違いはないと思います。</p> <p>・パソコンの金額と、設定の金額と、保守の金額です。</p> <p>・全国6ブロックの研修場所について、現地の方達に場所の手配などのロジをやってもらっています。</p> <p>・確認します。 (後日確認したところ、再委託先6者全て会員ではなかった。)</p> <p>・入札説明書等を取りに来た業者等を見ていると、全国で実施することや、ある程度の専門的な知識が必要であったり、局とのコンタクトが必要であることに萎縮されているように思われます。</p> <p>・東京で実施する中央研修については、今回はビデオ講義という形で実施しました。</p> <p>・所有者不明の森林に対応していくことだけが目的ということではなく、手入れがされていない森林を解消していくことが目的対象となります。</p> <p>・直接経費は旅費や謝金、印刷費な</p>
--	---	---

<p>ください。</p> <p>・この事業自体は所有不明の森林の場合にどうするかということへの対処も含んでおり、民法の専門家も検討委員会に出席されるとのことですが、最終的に新たに立法しないとどうしようもできないことも想定されますが、法務省との連携は行っているのでしょうか。</p> <p>・日本生態系協会が企画競争で選ばれた最大のポイントを教えてください。</p> <p>その他</p> <p>・委員会としての意見はなし。</p>	<p>どの事業費からなっています。</p> <p>・森林管理法上、所有者不明の場合の特例は既にあるのですが、その運用を市町村等が円滑に進められるよう、具体的な指標、基準、目安を示したいと思っています。一方でそもそもの所有者不明の土地対策というのは正に今、法務省と林野庁、財務省等関係省庁が集まって法制審議会等で議論しているところです。</p> <p>・企画競争で選んだポイントは、比較の問題になると思いますが、今回の事業は民法と森林法の世界のバランスをとりながら、それをまとめ、また、政府全体で所有者不明土地に対してどういう動きがあるかを分かった上でまとめる必要があります。そうした中、検討委員会運営のノウハウや所有者不明で何が問題で何を押さえる必要があるのかを1番理解していたということが評価されたと考えています。</p>
--	--

令和2年度 第1回林野庁入札等監視委員会
審 議 資 料

資料1 令和元年度第4・四半期及び令和2年度第1・四半期の契約締結状況について

- ・ 契約担当部署別・契約方式別契約一覧（総括表）

資料2 抽出契約について

- (1) 抽出契約の一覧表
- (2) 抽出契約に係る個別説明資料

<令和元年度第4・四半期>

工事関係

- ・ 抽出1 「林野庁東宮宿舎1号棟共用部給水設備改修工事」

物品役務等関係

- ・ 抽出2 「令和元年度GISデータ整合チェックツール作成等事業」
- ・ 抽出3 「令和元年度「森林サービス産業」緊急対策事業」

<令和2年度第1・四半期>

物品役務等関係

- ・ 抽出4 「令和2～5年度国有林野情報管理システムに係る運用及び保守業務」
- ・ 抽出5 「令和2年度林野庁治山及び林道調査設計積算プログラムの保守及び管理業務」
- ・ 抽出6 「令和2年度行政情報システム用パーソナルコンピュータ賃貸借及び保守等業務（森林管理局）」
- ・ 抽出7 「令和2年度ICT等を活用した路網整備推進技術者育成事業」
- ・ 抽出8 「令和2年度森林経営管理制度実施円滑化事業」

令和元年度第 4 ・ 四半期及び
令和 2 年度第 1 ・ 四半期の契約締結状況について

契約担当部署別・契約方式別契約一覧（総括表）

（対象：令和元年度第4・四半期分）

（単位：件、円）

契約担当部署		契約方式	工事関係		物品・役務等関係		合 計	
			一般競争/指名競争	随意契約	一般競争/指名競争	随意契約	一般競争/指名競争	随意契約
林野庁本庁	件数		1		7	2	8	2
		金額	23,650,000		39,812,195	109,680,195	63,462,195	109,680,195
	一般会計	件数	1		7	2	8	2
		金額	23,650,000		39,812,195	109,680,195	63,462,195	109,680,195
	東日本大震災復興特別会計	件数						
		金額						
		件数						
		金額						
森林技術総合研修所 （一般会計）	件数							
	金額							
合 計		件数	1		7	2	8	2
		金額	23,650,000		39,812,195	109,680,195	63,462,195	109,680,195

注 少額随意契約は含まない。

契約担当部署別・契約方式別契約一覧（総括表）

（対象：令和2年度第1・四半期分）

（単位：件、円）

契約担当部署		契約方式	工事関係		物品・役務等関係		合 計	
			一般競争/指名競争	随意契約	一般競争/指名競争	随意契約	一般競争/指名競争	随意契約
林野庁本庁	件数				32	61	32	61
		金額				1,295,405,522	716,124,726	1,295,405,522
	一般会計		件数			24	61	24
		金額			1,112,463,165	716,124,726	1,112,463,165	716,124,726
	東日本大震災復興特別会計	件数			8		8	
		金額			182,942,357		182,942,357	
		件数						
		金額						
	森林技術総合研修所 （一般会計）	件数			7		7	
		金額			27,930,735		27,930,735	
合 計	件数			39	61	39	61	
	金額			1,323,336,257	716,124,726	1,323,336,257	716,124,726	

注 少額随意契約は含まない。

抽出契約について

抽出契約の一覧表（令和元年度第4四半期分）

【工事関係】（競争入札）

【物品・役務等関係】（競争入札）

（随意契約）

抽出番号	1	2	3
契約担当部署	管理課 （一般会計）	経営企画課 （一般会計）	森林利用課 （一般会計）
契約名	林野庁東宮宿舎1号棟共用部給水設備改修工事 東京都江東区東陽6-2-18 令和2年1月15日（水）から令和2年3月27日 （金）まで 建築一式工事	令和元年度GISデータ整合チェックツール作成等事業	令和元年度「森林サービス産業」緊急対策事業
契約内容の概要	経年劣化により更新が必要となった給水設備について、給水方式の変更と給水管の改修工事を行った。	地理情報システム（GIS）において使用する国有林の森林計画図面をオープン化することは、民国の連携した取組を一層促進させることに資することから、現在、国有林では森林計画図面のGISデータ化に試行的に取り組んでいるところである。 オープン化するGISデータについては、整合性の取れたものを整備する必要があるため、本事業では、専門知識・技術がない職員であっても、容易にGISデータの整合確認が行えるツールを作成するものである。	森林空間活用を通じた地方の定住・交流・関係人口の拡大に取り組むため、付加価値の高い体験型の観光など「森林サービス産業」の新たな展開に取り組む地域について、新たな需要者の拡大のためプロモーション等を実施 1 森林空間利用促進に向けた全国的なプロモーションの実施 (1) 検討委員会の設置・開催 (2) プロモーション戦略計画の作成 (3) プロモーションの実施 2 地方自治体等のプロモーション戦略計画の作成支援
契約相手先	大洋建設株式会社	北海道地図株式会社	森林サービス産業プロモーション共同企業体 代表者株式会社アイアンドエス・ビービー ディーオー
予定価格	24,167,000	4,778,283	69,894,345
契約金額	23,650,000	732,600	69,880,195
落札率	97.8%	15.3%	99.9%
契約方式	一般競争契約	一般競争契約	随意契約 （企画競争）
応募者等の数	2	2	3
契約年月日	令和2年1月15日	令和2年1月31日	令和2年3月4日
履行期限	令和2年3月27日	令和2年3月19日	令和2年3月31日
再就職の役員の数	—	—	—
備考			令和2年3月31日付けで変更契約を締結し、履行期限を令和3年3月19日に変更

抽出契約の一覧表（令和2年度第1四半期分）

（随意契約）

抽出番号	4	5	6	7	8
契約担当部署	経営企画課 （一般会計）	業務課 （一般会計）	経営企画課 （一般会計）	研究指導課 （一般会計）	森林利用課 （一般会計）
契約名	令和2～5年度国有林野情報管理システムに係る運用及び保守業務	令和2年度林野庁治山及び林道調査設計積算プログラムの保守及び管理業務	令和2年度行政情報システム用パーソナルコンピュータ賃貸借及び保守等業務（森林管理局）	令和2年度ICT等を活用した路網整備推進技術者育成事業	令和2年度森林経営管理制度実施円滑化事業
契約内容の概要	国有林野情報管理システムは、林野庁や森林管理局・森林管理署等に所属する職員が伐採・造林等の事業実行の管理や経理事務の処理、地域の国有林野面積等の情報管理等を行うために必要な基幹システムであり、イントラネットを利用したオンラインシステムである。本システムについて、日常的な運用保守業務と利用者に対する支援を行い、国有林野事業の円滑な遂行にシステムを通じて資することが役務の目的である。	治山事業及び林道事業の調査、測量、設計の請負業務の発注時に予定価格を積算するプログラムを円滑に運営するため、プログラムについて設計単価の入力、改修を行う保守業務ほか、不具合が生じた時の対応等のプログラムの管理を行う業務 1. 設計単価の算出・入力 2. 調査設計積算プログラムの改修 3. 調査設計積算プログラムの管理	各職員に農林水産省行政情報システムに接続されるパーソナルコンピュータ（以下、「PC」という。）を整備しているところ、森林管理局における一部の機器について賃貸借期間の終了等を迎えることから、その更新のため本仕様書に示すPCの賃貸借及び保守等を行う。	林業の成長産業化の実現に向けて、ICT等の先端技術を活用した路網作設等による路網計画を主に、森林の施業から木材の流通までを考慮した総合的な森づくり構想の作成を行うことができる人材を育成するための研修を行う。 ①研修運営委員会の設置 研修のカリキュラム等の作成や研修運営するための委員からの助言の聴取、整理等を行う。 ②技術者育成研修の運営、課題の整理等 中央研修（3回開催）とブロック研修（6会場）の運営や、研修のカリキュラム・テキスト等の作成及び改善や課題の整理等を行う。	市町村が森林経営管理制度の運用を早期に軌道に乗せることができるよう、森林経営管理制度に係る全国の知見やノウハウを調査・分析し、データベース化し情報提供するとともに、森林経営管理法の所有者不明森林等の特例措置を適切に運用できるよう、特例措置の適用可否に係る判断基準の整備を行うなどを通じて、市町村等の支援を行う事業。 （1）事務データベース整備業務 森林経営管理制度に先導的に取り組む市町村等へのヒアリング等を実施し、収集した情報を整理・分析した上で参考資料等の作成、市町村等への提供を行う。 （2）森林管理状況評価指標整備業務 森林の経営管理の水準に関する科学的知見等の整理を行った上で、検討委
契約相手先	富士通株式会社	株式会社プロフェース・システムズ	エヌ・ティ・ティ・データ・カスタマサービス株式会社	一般社団法人全国林業改良普及協会	公益財団法人日本生態系協会
予定価格	566,806,625	7,262,200	217,800,000	40,000,000	20,000,000
契約金額	552,090,000	2,838,000	178,992,220	40,000,000	19,838,461
落札率	97.4%	39.0%	82.1%	100.0%	99.1%
契約方式	一般競争契約 （総合評価）	一般競争契約	一般競争契約 （総合評価）	随意契約 （企画競争）	随意契約 （企画競争）
応募者等の数	1	4	3	1	5
契約年月日	令和2年4月1日	令和2年5月12日	令和2年6月18日	令和2年4月2日	令和2年4月14日
履行期限	令和5年9月30日	令和3年3月31日	令和2年9月30日	令和3年3月26日	令和3年3月26日
再就職の役員の数	—	—	—	2	—
備考					